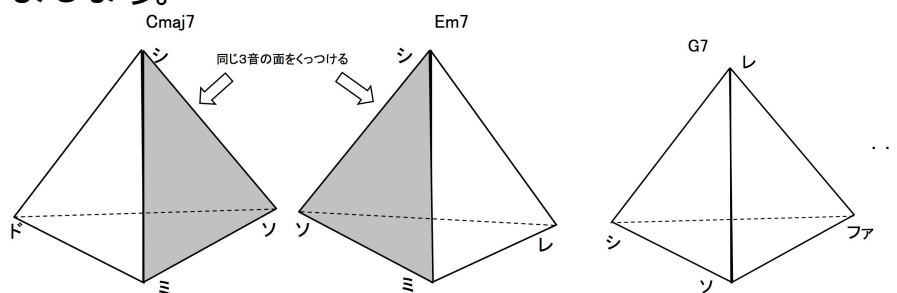


4 和音のトポロジー

3 和音の次は 4 和音を考えてみましょう。ドレミファソラシドから 3 度ずつ（一つおきに）積み重ねられてできた 7 つの 4 和音は次のものになります。

Cmaj7	ドミソシ	G7	ソシレファ
Dm7	レファラド	Am7	ラドミソ
Em7	ミソシレ	Bm7 ^(b5)	シレファラ
Fmaj7	ファラドミ		

これらは（八長調の）ダイアトニックコードとも呼ばれています。3 和音のときは三角形でしたが、4 和音では四面体の頂点に一つずつ音を対応させることにより 4 和音で四面体で表し、3 つの音が一致する面で二つの四面体をくっつけてみましょう。



実はそのままでは 3 つの音が一致している全部の面をくっつけることはできませんが、ゴムや粘土のような素材で曲げたり縮めたりしてくっつけると、これからできる図形はドーナツになります（数学用語ではソリッドトーラスと言います）。

「ドはドーナツのド」というドレミの歌には、こんなに深い話が隠されていたのですね。